

■著者紹介

渡辺 顕修 (わたなべ・ぎしゅう)

ペンネーム 渡辺 修 (わたなべ・おさむ)

〔現職〕 甲南大学名誉教授，法学博士，弁護士（大阪弁護士会）

〔学歴〕 京都大学法学部卒業。京都大学大学院法学研究科修士課程修了，同博士後期課程単位取得・退学。コーネル大学ロー・スクール修士課程修了（LLM）。

〈主な業績〉

『刑事裁判を考える：21世紀刑事司法の展望』（現代人文社，2006年）

『現代の刑事裁判』（成文堂，2014年）

『模範六法』（三省堂）編集委員

山田直子 (やまだ・なおこ)

〔現職〕 関西学院大学法学部教授，博士（法学）

〔学歴〕 一橋大学法学部卒業。一橋大学大学院法学研究科修士課程修了，同博士後期課程修了。

〈主な業績〉

『取調べ可視化—密室への挑戦：イギリスの取調べ録音・録画に学ぶ』（成文堂，2004年）
監修

『被疑者取調べ可視化のために：オーストラリアの録音・録画システムに学ぶ』（現代人文社，2005年）編著